



町長行政一般報告

職員の処分について

令和7年12月30日付けで、40代職員を停職3か月懲戒処分としました。

当該職員は、令和元年度から3年度までの間、百歳を迎えた8名に対し内閣総理大臣から贈られるお祝い状と記念品、民生委員を退任された5名に対し厚生労働大臣および北海道知事から贈られる感謝状の交付を怠り、さらに、交付を行ったものとして国や北海道に

虚偽の報告を行い、不適切な処理が発覚しないよう隠ぺいを行ったものです。

また、公営企業会計における消費税申告事務においても、適切な事務処理を行っていませんでした。

なお、お祝い状および感謝状については、既に亡くなった方もいましたので、ご本人、または、ご遺族の方へ持参し、お詫びと説明をしました。

当該職員は以前にも、上下水道使用料の事務処理において不適切な処理があり、令和7年9月30日付けで停職1か月の懲戒処分を行い、降任辞令を発令していましたが、処分期間中に本件が発覚したことから、調査を行った結果、今回の事案が確認され、加重処分としました。

このことは、いずれも行政の信頼を著しく失墜させる行為であり、改めて再発防止に向けたチェック体制の強化を行います。ご迷惑をおかけした皆さんに、改めて深くお詫び申し上げます。

諸工事の発注および進捗状況

令和7年度諸工事の発注状況は、別表(次ページ)をご覧ください。

観光施設の利用状況

ぴっぷろスキー場について、今シーズンは前年と同日の12月13日から一部のコースで営業を開始し、ナイター営業は1月1日から開始しました。

2月末現在のリフト収入は7,775万8千円で、前年同期に比べて733万円少ない91・4%となっています。

今シーズンは12月の暖気と雨により、大変厳しいスタートになりました。

特徴的な傾向として、外国人旅行者が昨シーズンを大きく上回るペースで来場され、2月末現在で、前年同期に比べ、約155%の

来場となりました。そのため、リフト収入はシーズン当初の遅れを取り戻している状況となり、来場者数は昨シーズンと同水準で推移しています。

今シーズンは3月22日までの営業予定ですが、残る期間においても、従業員やスキー場エリア内関係者との連携を図りながら、お客様の安全を第一に考え、多くの方々にご利用いただけるよう努めます。

良佳、プラザ・遊湯、ぴっぷろの利用状況について、2月末現在の総入館者数は90,385人で、前年同期に比べ11,192人少ない89%と管理者から報告を受けています。

観光需要の回復により、今年度の施設利用者数は概ね10万人と見込んでおり、スキー場オープン以降は、入浴・宿泊ともにスキー客の利用も多いことから、施設の相互利用が十分に図られていますものと考えています。日帰り宴会についても増加傾向で、さらなる営業努力

を管理者と共に行います。

4月から指定管理が第5期目となります。昨今のエネルギー価格や物価の高騰をはじめ、施設の老朽化に伴う基幹設備の修繕・更新など、維持管理経費の増加が課題となっていることから、施設のあり方についてしっかりと検討します。

教育行政一般報告

主な教育活動について

1月20日、9年生の家庭科の授業の一環として、くるみ保育園を訪問し、各グループに分かれ幼児と制作活動や外遊び、乳幼児の保育のお手伝いなど、貴重な体験をしました。

1月21日、君の夢プロジェクト「心に響く道徳講話」を開催し、プロバスケットボールチーム・レバンガ北海道の折茂武彦社長が「夢を叶えるために」というテーマで後期課程生徒に講話いただきました。生徒の皆さんにとって、自分の将来について考えるとても良い機会となりました。

行政報告

第1回町議会定例会

別表 諸工事の発注状況 (令和7年11月25日～令和8年1月9日)
(単位:円)

工事名および工事の内容	請負業者	請負金額
蘭留北10線橋護岸布設替工事 護岸改修 1箇所	(株)新見産業	682,000



卒業予定者の状況

令和7年度の卒業予定者は26人で、全員が高校進学を希望しています。既に合格並びに推薦・内定を受けている生徒もいますが、3月17日には合格発表があります。全員が志望校に入学できることを願っています。

3月12日には「第4回卒業証書授与式」が行われます。4月から新しい世界に飛び立つ9年生の皆さんの祝福をお願いします。

児童生徒数および学級編制

令和8年度4月、比布中央学校は27人の新1年生が入学し、全校児童生徒数は216人となる予定です。また、総学級数は19学級で、うち10学級が特別支援学級の予定です。

子どもたちの活躍

旭川東高校1年生の勝見洸太さんは、2月4日から長野県で開催された「第75回全国高等学校スキー大

第1回町議会定例会が令和8年3月9日に招集され、町長および教育長から行政一般報告がされました。概要をお知らせします。

会」のフロアに出場し、健闘しました。比布中央学校の時から3年連続全国大会への出場となりました。

比布町ソフトテニス少年団所属の6年生・佐藤茜さんは6年生女子シングルの部、4年生・大石胡花さんと中野稀映さんは4年生以下女子ダブルスの部で、2月14日から秋田県で開催された「第20回北東北小学生選抜インドア大会」に出場し健闘しました。また、大石さんと中野さんは、3月29日から千葉県で開催される「第25回全国小学生ソフトテニス大会」の4年生以下女子ダブルスの部に出場します。

比布中央学校ソフトテニス部所属の8年生・勝見明衣さんと勝見友音さんは、3月29日から岐阜県で開催される「第23回YONEX CUP全国中学校選抜ソフト

トテニス大会」に出場します。

旭川レスリングクラブ所属の8年生・寒河江冨六さんは、3月21日から東京都で開催される「JOCジュニアオリンピックカップ2026U15全日本レスリング選手権大会」のフリースタイル62kg級に出場します。

比布町剣道スポーツ少年団所属の6年生・中野紗和さんと5年生の青木理音さん・上田星さん・佐藤日咲さんは、3月29日から茨城県で開催される「第67回全国選抜少年剣道錬成大会」に旭川剣道連盟選抜チームのメンバーとして出場します。

これから全国大会に出場される皆さんには、北海道の代表として、比布町の代表として、自分の力を存分に発揮し、堂々と試合に臨んでほしいと思います。

◎町から提案した主な議案
○令和8年度一般会計予算について

他28件

子ども議会開催

2月27日、比布中央学校6年生が自分たちの考えたまちづくりを町議会議員にプレゼンする「子ども議会」が行われました。

6年生は5つのグループに分かれ、「比布町の未来づくり」と題して元気よく提案してくれました。

- 提案のあったアイデア
- ・スキー場の活用
- ・新しい特産品の販売
- ・特設の特産品売り場の設置
- ・オリジナルグッズの販売
- ・子ども支援・子育て支援

